

山行名		湯の丸山 (2101m/長野県・群馬県)		
実施日	令和6年6月20日(木) 日帰 レンタカー(14人乗ハイエース)利用			
天候/参加人員	天候:晴のち曇、レベル:★☆☆ 参加者:申込12名/実施12名(男性2名/女性10名)			
パーティスタッフ	省略			
参加メンバ	省略			
一人当たり費用 5,760円	約5,760円(往復交通費¥5,305+リフト代¥450+カンパ金¥5)			
カンパ金 60円	◆往復交通費:ハイエースレンタル料金¥20,020,ドライブ謝礼(+距離加算1,000)¥21,000、燃料代(@150x(500/8))¥9,400、高速料金(中型往復;圏央厚木-小諸@6,620x2)¥13,240/往復交通費合計¥63,660⇒/12人:一人当たり@5,305、リフト代(地蔵峠-ツツジ平片道・団体割)¥450 集金(@5,760x12)¥69,120-費用((5,305+450)x12)¥69,060⇒残金¥60(TTCカンパ金)			
歩行/行動時間	歩行時間	休憩時間	行動時間*	◆過去歩行/行動時間実績データ (地蔵峠→ツツジ平→湯ノ丸山南峰・北峰往復→烏帽子岳ピストン→地蔵峠)
カイトブック	3:00	—	—	①1997.6.14(20名参加):4:09/6:05 (*2:09)
計画	3:40	1:35	5:15	②2007.6.23(19名参加):4:44/6:20(*2:09)
実行	3:58	1:18	5:15	
実行コースタイム記録 *今回の山行で省略したコースの歩行時間(リフト利用、北峰&烏帽子岳ピストン)				
ハイエース	圏央道	関越/上信越道	(湯ノ丸高原P)リフト5分	
鷲尾=(荻野新宿・林)=旧ヨカド-前==圏央厚木IC=狭山PA==横川SA==小諸IC==道の駅くるみの里=地蔵峠駐車場~				
6:00	6:25	6:43	7:31/7:43	9:10/9:25 9:56 10:02/10:21 10:50/11:00
リフト(体操)0:05(昼食)	0:23	1:19	1:03	0:43 0:25 上信越道
~リフト終点---ツツジ平---鐘分岐---湯ノ丸山(南峰)頂上---湯ノ丸・烏帽子のCOL---中分岐---地蔵峠P==小諸IC==				
11:10/11:20	11:25/11:58	12:21	13:40/14:00	15:03/15:17 16:00/16:07 16:35/16:47 17:20
関越道/圏央道				
横川SA==狭山PA==圏央厚木IC==本厚木ヨカド-前== (林・荻野新宿)=鷲尾	歩行数~15,000歩			
17:53/18:15	19:36/19:49	20:32	20:47	21:05頃
コースの概要、特記事項、反省事項等				
◆本山行実施の経緯と目的: 国の特別天然記念物に指定されている長野県/群馬県境の湯ノ丸山東斜面に広がる湯ノ丸高原レンゲツツジ群生地は、日本最大の群生地として知られ、TTC創立直後の1997.6.14(参加20名中、現シニア6名参加)と、10年後の2007.6.23(19名中、現シニア4名参加)の2回、湯ノ丸高原~湯ノ丸山~烏帽子岳を周回するマイカー利用日帰山行が実施されている。そこで17年振りにコースを短縮したゆった〜り山行を実施し50~60歳代メンバ主体の過去データと、80歳代を迎えて体力劣化が目立つシニアメンバ主体のコースタイムを比較し、今後のゆった〜り山行に適した計画立案に資する知見を得た。				
◆実施概要: 梅雨期であることを考慮し、天候に対応した5つのコースプランを用意したが、前倒し実施した6/20は、幸運にも入梅前日の好天となった。シニアメンバを中心とした12名が、ハイエースに乗車して早朝厚木市を出発、4時間強を要して標高1732mの地蔵峠に到着。運行中の登山リフトに乗って、レンゲツツジ満開の標高1847mのツツジ平へ。なだらかな斜面一面にオレンジ色の花を満載した群生地の中で、青空に大きく聳える湯ノ丸山を仰ぎ見ながら昼食を摂ってから、群生地の中を辿って湯ノ丸山頂上に向かった。頂上まで急傾斜の露岩の登山道が続くが、見晴らしの良い低灌木の疎林と草原には、レンゲツツジの他、咲き始めたハクサンシャクナゲ、満開のドウダンツツジ、咲き残りのスミ、ワカミ、ミバオウゴン、コケモ、ツマトリソウ、マイズルソウ、ウマノアシガタ、ゴゼンタチバナ、等々、多くの高山植物がみられた。東には眼下の湯ノ丸高原スキーゲレンデ先の箒/登山群と浅間第2外輪山の上に盛んに噴煙を噴き上げる元気な浅間山、視線を左に転ずると147haの斜面に60万株のレンゲツツジのオレンジ色の絨毯、遠方にかすむ草津白根山、四阿山と根子岳、田代湖、右に視線を転ずると小諸や上田市の田園と家並みが一望できた。				
湯ノ丸山頂までの標高差280mの登りを、27年前の50歳代には、たった40分で登ったのに、80歳代となった今回では、何度も立休みして息を整えながらの長い登りで、往時の約2.6倍の102分を要してやっと標高2101mの南峰頂上に登りついた。広い頂上には、我々と同年代の4人パーティ1組のみ。午後から徐々に雲量が増えはじめ、西側の眺望はなく、一雨きそうな空模様。往復20分の距離にある北峰ピストンはやめ、早々に下山にかかった。下山は南の烏帽子岳に続く灌木が茂る尾根道を選んだ。下山にかかるとすぐに雨粒が落ち出したが、雨具を着るほどではなかった。標高差250mのコルまでは石臼道で気が抜けない登山道を慎重に下ったが、ふくらはぎが撃ったメンバの応急手当等もあり、27年前に要した25分の約2.5倍の63分を要してコルにたどり着いた。コルから先、地蔵峠までの2.6kmの下山道は、深いカラマツの森林帯の中の傾斜の緩い、歩きやすい登山道で、地蔵峠駐車場に4:30pm過ぎに無事下山した。				
80代が主力の今回、本格的な登山道では、上り下りとも50代の約2.5倍の時間を要することが確認できた。				
3回の湯ノ丸山行の所要歩行時間比較 (主力メンバの年齢層による歩行時間比)		1997年	2007年	2024年
		50歳代	60歳代	80歳代
登り標高差280m: ツツジ平→湯ノ丸山頂		0:40/1.00	1:05/1.63	1:42/2.55
下り標高差250m: 湯ノ丸山頂→烏帽子コル		0:25/1.00	0:30/1.20	1:03/2.52
全行程(ツツジ平→湯ノ丸山→地蔵峠)		2:00/1.00	2:35/1.29	3:58/1.98